

キシオ・ムラタ(村田實史雄/1910-1992)は、青年期を岐阜で過ごし、二科会や行動美術協会に所属し作品を発表しました。戦後、日墨文化協定の記念行事としてメキシコで開催した個展を機に、同国と関係を深め、1964年に移住します。詩情溢れる色鮮やかな画風で知られ、1988年には日墨修好百周年記念として個展がメキシコ国立近代美術館で開催されるなど、両国の架け橋として文化交流に大きな影響を与えました。本特集展示では、岐阜県美術館が所蔵するキシオ・ムラタの油彩画を中心に紹介します。

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
キシオ・ムラタ 村田實史雄	1910-1992	春	1947	油彩、画布
		朝	1949	油彩、画布
		異人館	1952	油彩、画布
		白い道	1953	油彩、画布
		婦人像	1954	油彩、画布
		緑陰	1956	油彩、画布
		空港	1956	油彩、画布
		砂漠の歌	1956	油彩、画布
		森	1957	油彩、画布
		楽器のある静物	1958	油彩、画布
		海の家	1958	油彩、画布
		春	1960	油彩、画布
		静かな丘	1960	油彩、画布
		早春	1962	油彩、画布
		赤い風景	1962	油彩、板
		女性像(佐杜子)	1962	油彩、板
		幼児の記憶	1964	油彩、画布
		田園	1964	油彩、画布
		秋	1964	油彩、画布
		女人像	1965	油彩、画布
		緑の地帯	1965	油彩、画布
		詩人の庭	1965	油彩、画布
		砂漠の花	1972	油彩、画布
		砂丘の花	1972	油彩、画布
		マヤの遺跡	1972	油彩、画布
		月夜の窓	1972	油彩、画布
		カリブ海の燈台	1972	油彩、画布
		月影	1978	油彩、画布
		遺跡の祭典	1978	油彩、板
		森の小道	1978	油彩、画布
		高原の朝	1978	油彩、画布
		二人の会話	1978	油彩、画布
		星の物語 別題 メキシコの神話	1983	油彩、画布
月と魚(夢) 別題 海の幻想	1984	油彩、画布		
思い出の朝 別題 初冬(思い出の朝)	1984	油彩、画布		
森と人 別題 砂漠の謎	1984	油彩、画布		
夏 別題 ピラミッドの祭典	1984	油彩、画布		
砂漠の陰	1984	油彩、画布		